

令和4年度使用中学校用教科用図書

調査報告書

令和3年7月

伊賀採択地区協議会

令和4年度使用中学校用教科書の発行者別一覧

発行者番号	発行者名	略称	社会（歴史的分野）
2	東京書籍	東書	○
4	大日本図書	大日本	
6	教育図書	教図	
9	開隆堂出版	開隆堂	
11	学校図書	学図	
15	三省堂	三省堂	
17	教育出版	教出	○
27	教育芸術社	教芸	
38	光村図書出版	光村	
46	帝国書院	帝国	○
50	大修館出版	大修館	
61	新興出版社館 新啓 出林	啓林館	
81	山川出版社	山川	○
104	数研出版	数研	
116	日本文教出版	日 文	○
224	学 研 教 育 み ら い	学 研	
225	自 由 社	自 由 社	○
227	育 鵬 社	育 鵬 社	○
229	※ 学 び 舎	学 び 舎	○
232	廣 濟 堂 あ か つ き	廣 あ か つ き	
233	日 本 教 科 書	日 科	
各種目の発行者数			8

※学び舎の教科書見本の送付はありません。

教科用図書採択地区における中学校で使用する教科用図書の採択基準

令和4年度中学校において使用する教科用図書の採択にあたっては、下記の基準によるものとする。

記

- 1 採択の公正確保を期すること。
- 2 教科用図書採択協議会は原則公開とするなど、開かれた採択に努めること。
各採択地区の教科書展示会において見本本についてのコメントを求めるなど、保護者等の声を参考にすること。
- 3 「教科用図書採択地区協議会規約例」を参考にし、採択地区内の市町等教育委員会が十分協議すること。
- 4 中学校学習指導要領(平成29年3月31日 文部科学省告示第64号)の趣旨を踏まえること。
- 5 従前の採択教科用図書の使用結果を適正に評価するとともに、当該採択地区内の中学校教育の実情を十分勘案すること。
- 6 県教育委員会が作成する「令和4年度使用中学校教科書選定に関する参考資料」を活用すること。
- 7 採択事務の遂行に当たっては、教科用図書の内容についての十分な調査研究を行うこと。
- 8 採択結果及びその理由をはじめとする採択に関する情報の積極的な公表に取り組むこと。

三重県教科用図書選定審議会調査員(中学校調査員)の調査実施項目

- 1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫
 - (1) 各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を見いだして解決策を考える学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫
 - (2) 言語能力の育成を図るための工夫
 - (3) 情報活用能力の育成に向け、ICTを活用した学習活動の充実を図るための工夫
 - (4) 学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫
 - (5) 各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫
 - (6) 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫
 - (7) 他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫
- 2 使用上の便宜
 - (1) 内容別配当の分量
 - (2) 教材・資料等の分量
 - (3) 造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫等
- 3 その他
各種目において調査を必要とする事項

社会

(歷史的分野)

令和4年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	社会（歴史）
発行者名（番号）・教科書名	自由社（225） 中学社会 新しい歴史教科書
1 取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨に示された内容をもとに構成している。 ・琉球・沖縄・アイヌの文化と歴史などについての事象を取り上げている。 ・通州事件やゾルゲ事件を扱うなど、新たな視点で戦争を取り上げている。 ・日本の伝統文化についての取り扱いが充実している。 ・教科書の太字になっている部分（アマテラスオオミカミ P39、聖断 P245 など）が、なぜ重要語句として必要（入試に出題される等）とされているのか、根拠がわからない。
2 内容の選択及び扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・章と章の間には「調べ学習のページ」、「復習問題のページ」、「時代の特徴を考えるページ」、「対話とまとめ図のページ」があり、復習や予習をスムーズに進められるようになっている。 ・「もっと知りたい」や「コラム人物クローズアップ」などで、地域の歴史や人物を紹介しており、興味や関心を持たせる内容がある。 ・各時間に「チャレンジ」の欄があり、問題提起や確認となる発問をおき、各時間の学習内容を確認できる工夫がある。 ・日本中心の偏った見方が多い。（近代・近現代）
3 内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の内容の半分のページが近現代史に割かれている。 ・教科書は巻末まで 300 ページあり、やや多い。 ・他の教科書では取り上げられていない語句やできごとを取り上げている。（菜畑遺跡 P31 やトルデシリャス条約 P109 など）いずれも太字（重要語句） ・写真や資料が多く充実しているが、その分教科書が分厚くなっている。 ・学習指導要領に基づいて、生徒が無理なく、興味をもって取り組めるように「復習のページ」や「調べ学習のページ」等が設けられている。一方で近代以降について扱われる条約等の内容がやや難しいものもみられる。
4 内容の構成及び配列	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の文字の大きさや行間は妥当である。 ・原則として、一単元見開き 2 ページ構成とし、授業を進めやすくしている。 ・図版が大きく見やすい分、本文の記述が少なくなっている。
5 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターが登場し、疑問や考えるポイントを示していて、生徒に親しみやすくなっている。 ・タイトルの下に本時の学習課題を示すことで、その時間の学習の流れが把握できるようになっている。（但し、文字の大きさが小さい。） ・人物が多く読み物としては面白い部分もある。 ・「時代の特徴を考えるページ」では、各時代の大きな流れをまとめる手だてがなされている。 ・「対話とまとめ図」のページでは、各時代の内容を対話文で示し、話し合いのきっかけ作りがなされている。 ・すべての単元に、年表が記載されており、特に西洋史の単元では日本の時代と比較できるので良い。

6 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・各章が古代まで・中世・近世・近代・現代と教科書の上で色分けされ、生徒がどの時代区分を学習しているか、把握しやすくなっている。 ・難しい漢字や固有名詞、歴史用語にはルビがついている。用語の説明が付けられているものもある。 ・本文以外の文章表記が多いので、全体的に文字量が多い。 ・地図がシンプルである。
7 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・「もっと知りたいコラム」や「外の日から見た日本」で取り上げられている内容は日本賛辞のものが多く、偏りがある。 ・キャラクターが登場しており、生徒の理解を補助する役割としては適切であるが、キャラクターのデザインの描写（色）や表現（口調）には、男女の固定観念からくる描写や表現がある。 ・「蘇我氏の滅亡」（P49）、「桜田門外の変」（P160）の図や「アヘンを吸う清国人」（P157）の写真など、教科書に載せるには不適切な資料がある。 ・特に日本を勝利に導いた秋山兄弟など戦争の記載において、戦争を美化するような記載があることについて違和感がある。・資料や地図がたくさん掲載されていることはよいのだが、資料の文字が小さすぎるものがあり残念である。
総合的な評価	<p>「取り扱い内容」「内容の選択」をはじめ、「内容の構成」などで生徒が興味関心を持ち、主体的・対話的に学習できるよう工夫された内容であるか、見開き2ページによって1時間の構成となっているか、1時間単位の「めあて」と「ふりかえり」が設定されているか、文章の分量や読みやすさ(表現)などの配慮がなされているか、などを中心に考え評価した。その結果、様々な場面で創意工夫がなされているが、教科書の大半が近現代史を取り扱い、天皇制や戦争に対しての記述に、偏りを感じる部分があった。また、資料の中に流血している資料があり、適切な資料とは言えないところが見受けられる。また、人名索引の正誤表が付けられており、多くの間違いがある。従って、この教科書は採択される教科書として、【適しているとは言い難い】と判断した。</p>

令和3年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	社会（歴史）
発行者名（番号）・教科書名	東京書籍（2） 新しい社会 歴史
1 取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示された内容をもとに構成している。 ・日本の文化と伝統の特色について、神話やアイヌ文化を取り入れたり、国宝や世界遺産を示したりして説明している。 ・領土問題について、領有の歴史的な経緯を取り上げている。 ・「地域の歴史を調べよう」で、主体的に社会の形成に参画する資質や能力を養えるようになっている。 ・教科書全体を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の5つのテーマで貫き、現代的な諸問題を意識しながら学習を進められる。 ・中学校社会科で習得すべき知識や概念を過不足なく盛り込んでいる。
2 内容の選択及び扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心を引き出す『導入資料』を基に、1時間を設定した問いである学習課題を提示し、丁寧で分かりやすい『本文』で学習し、最後に1時間の学習課題を解決する『チェック&トライ』の流れで構成されており、学習内容が確実に定着できる工夫がなされている。 ・本文中の抽象的な用語については、巻末の「用語解説」で解説し、基礎・基本を確実に理解できるようになっている。 ・基礎的・基本的な知識や資料を読み取る思考・判断力を習得させるため、『スキル・アップ』で学習に必要な知識や技能が定着できるようになっている。 ・古代から現代までの授業時数を適当に配分されており、政治史や経済史に偏重することなく、文学史にも十分な記述量がある。
3 内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> ・本文は敬体で書かれており、平易で具体的な表現でわかりやすい。 ・ふりがなは、教育漢字以外の漢字や固有名詞に適宜つけられている。 ・1ページの文章量（行数）も適切である。
4 内容の構成及び配列	<ul style="list-style-type: none"> ・見開き2ページで1単位時間を原則としている。 ・各時代の学習を「導入部」→「展開部」→「終結部(まとめ)」で構成され、学習の内容と流れが捉えやすくなっている。 ・各章の最初に、生徒の興味・関心を引き出す「導入資料」が掲載され、生徒がイメージをもって学習できるように工夫されている。 ・章の最後に「基礎・基本のまとめ」が設けられており、年表や模式図を使って学習内容を整理でき、基礎・基本の定着が図れるようになっている。
5 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・各ページに「チェック&トライ」があり、要所には「みんなでチャレンジ」「集める」「歴史にアクセス」等、学習を助ける問いかけが多くみられ、生徒が主体的に学習できるような手立てが示されている。

6 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・学習上必要のないキャラクターやデザインが少ないので、学習内容に集中しやすいように配慮されている。(特別支援教育の観点から) ・色覚特性に配慮した紙面で、カラーユニバーサルデザインに対応している。 ・用紙の軽量化が見られる。(塗料の質) ・ふりがなの文字濃度を変えて、本文の読みやすさを考慮している。 ・資料部分に色付けされており、本文と資料の区分けが明確である。 ・資料を見たらおおよその学習内容が把握できる。
7 その他	
総合的な評価	<p>「取り扱い内容」「内容の選択」をはじめ、「内容の構成」などで生徒が興味関心を持ち、主体的・対話的に学習できるよう工夫された内容であるか、見開き2ページによって1時間の構成となっているか、1時間単位の「めあて」と「ふりかえり」が設定されているか、文章の分量や読みやすさ(表現)などの配慮がなされているか、などを中心に考え評価した。その結果、特に詳しく取り上げられるといった内容の偏りが無く、全体的に上手くまとめられて作成されている。それには、著作権関係者の幅広い考えや見識が活かされていると感じられた。従って、この教科書は採択される教科書として、【特に適している】と判断した。</p>

令和3年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	社会（歴史）
発行者名（番号）・教科書名	教育出版（17） 中学社会 歴史 未来をひらく
1 取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領を踏まえ、歴史的分野に必要な基礎的・基本的な事項が、的確におさえられている。 ・授業時数を踏まえて編集されている。 ・課題解決に取り組みやすい内容である。
2 内容の選択及び扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・市民革命の資料が多めに使われている。 ・ヨーロッパの宗教改革からザビエル来日がスムーズで、指導しやすい。 ・生徒の日常生活や経験と関連の深い身近な話題・内容が多く取り上げられているほか、図版や写真も多く興味深い。
3 内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な内容が定着できるようになっている。 ・具体的な例示、歴史的事象の背景、因果関係が分かるようにしている。
4 内容の構成及び配列	<ul style="list-style-type: none"> ・導入ページ→本時ページ→特設ページ→まとめページと、指導の流れが一貫している。 ・冒頭に「歴史にアプローチ」が設けられ、歴史の見方・考え方が確認できるようになっている。 ・「歴史の技」「歴史の窓」などのコラムや学びを深める内容も豊富である。
5 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の大きさやふりがなが適切である。 ・文章量が適当である。 ・小学校との連携を意識しており、中学校へのスムーズな移行を図っている。 ・学習している時代を、色ごとに統一している。
6 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間で見開き2ページで構成され、特設ページなどを設けるなど、ゆとりのある時数が配当されている。 ・資料が見やすい。 ・他の分野や教科との横断的・連携的なカリキュラムが立案しやすく、公民的分野にもスムーズに移行できる。
7 その他	
総合的な評価	<p>「取り扱い内容」「内容の選択」をはじめ、「内容の構成」などで生徒が興味関心を持ち、主体的・対話的に学習できるよう工夫された内容であるか、見開き2ページによって1時間の構成となっているか、1時間単位の「めあて」と「ふりかえり」が設定されているか、文章の分量や読みやすさ(表現)などの配慮がなされているか、などを中心に考え評価した。その結果、生徒への興味関心を引き立たせる創意工夫がなされている点が多いものの、部落差別や人権問題の記述に関しての内容が、他社の内容にくらべ安易な内容として感じられた。したがって、最も適しているとされる他社の教科書と比べると、【やや適している】と判断した。</p>

令和3年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	社会（歴史）
発行者名（番号）・教科書名	帝国書院（46） 社会科 中学生の歴史《日本の歩みと世界の動き》
1 取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の構成と学習内容、各種コーナーの意図や役割が一目でわかり、学習する見通しが分かりやすい。 ・「節の問いの振り返り」「章の学習の振り返り」があり、見通しや振り返りに基づいた単元の学習ができる。 ・「章の問い」に対して、歴史的な見方・考え方を考える「ステップ」により、課題解決学習ができる。 ・「説明しよう」といった言語活動を繰り返すことで、思考力・判断力・表現力を育成できる。 ・具体的な例を交えた本文と、それを補足する図解によって、基礎的な内容を理解できる。
2 内容の選択及び扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育、防災、人権・平和、グローバル化など、今日的課題を歴史上でコラムとして取り入れている。 ・琉球、アイヌの人々の記述が充実し、多文化が尊重される社会を意識できるように配慮されている。
3 内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の具体的な例示や、歴史事象の背景や因果関係がわかる。 ・学習が効果的かつ効率的に進めるための工夫がなされている。（図や写真）
4 内容の構成及び配列	<ul style="list-style-type: none"> ・導入→学習課題→本文→学習の振り返りの展開で構成されている。 ・人物コラムのコーナーが設けられている。 ・解説のコーナーがあり、用語の解説が随所に設けられている。
5 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・大きなイラストや重要な場面を探し出すなどの工夫で、生徒の興味・関心を引き出し、主体的・対話的な学習活動にも使える。 ・地理的分野と公民的分野との関連性を持たせている。 ・異なる二つの時代の「タイムトラベル」で、話し合いを促す工夫がある。 ・学習している時代が分かるように、時代ごとに色が統一されている。
6 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォント(UDフォント)が使用されている。 ・色覚に特性を持つ生徒も識別しやすい色や模様が使用されている。 ・軽い紙が使用されている。 ・本文、タイトル、人名、難関な漢字には、ふりがなが付けられている。 ・年表は、日本と世界があり、時系列を確認しながら授業がたできる。
7 その他	

総合的な評価	「取り扱い内容」「内容の選択」をはじめ、「内容の構成」などで生徒が興味関心を持ち、主体的・対話的に学習できるよう工夫された内容であるか、見開き2ページによって1時間の構成となっているか、1時間単位の「めあて」と「ふりかえり」が設定されているか、文章の分量や読みやすさ(表現)などの配慮がなされているか、などを中心に考え評価した。その結果、地図の見方に類似した資料提示など工夫があるが、各ページの資料提示の内容やその方法が、他社の教科書に比べるとやや劣っていると判断した。したがって、最も適しているとされる他社の教科書と比べると、【やや適している】と判断した。
--------	---

令和3年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	歴史
発行者名（番号）・教科書名	山川出版社（81） 中学歴史 日本と世界
1 取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示された内容をもとに構成している。 ・小学校からのつながりだけでなく、高校で扱うものを掲載しており、高校との接続への配慮がされている。
2 内容の選択及び扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・政治史だけでなく、経済や社会面でも考えさせる内容になっている。 ・日本や世界が抱える現代の課題についても、歴史記的観点からとらえて考えるようになっている。 ・人権に関する内容も、歴史を多面的・多角的にとらえた記述になっている。
3 内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の大きさが小さく、1ページ当たりの行数が多い。 ・「です・ます」調ではなく、「である」調になっており、中学生にはなじみが薄い。
4 内容の構成及び配列	<ul style="list-style-type: none"> ・「導入の発問」→「本文」→「ステップアップによる振り返り」という流れで統一されており、学習の流れがとらえやすい。 ・見開き2ページで1時間が基本となっている。
5 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・資料が豊富で、資料集等で補足する必要が少ない。 ・本単元では扱いきれないものを「歴史へのアプローチ」で示しており、より幅広い知識を身に着けることができる。
6 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントが採用されている。 ・難しい漢字や固有名詞、歴史用語にはふりがながついている。 ・資料はカラーユニバーサルデザインを配慮している。
7 その他	
総合的な評価	<p>「取り扱い内容」「内容の選択」をはじめ、「内容の構成」などで生徒が興味関心を持ち、主体的・対話的に学習できるよう工夫された内容であるか、見開き2ページによって1時間の構成となっているか、1時間単位の「めあて」と「ふりかえり」が設定されているか、文章の分量や読みやすさ(表現)などの配慮がなされているか、などを中心に考え評価した。その結果、歴史的史料としては他社よりも優れており、内容もより深く考えさせるように意識して作られている。しかし、中学生が学習する歴史的分野の内容としては、非常に難しく学力が高い生徒には適していると思われるが、すべての生徒にとっての教科書としては扱いにくいと考えられる。したがって、最も適しているとされる他社の教科書と比べると、【適しているとは言い難い】と判断した。</p>

令和3年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	社会（歴史）
発行者名（番号）・教科書名	日本文教出版（116） 中学社会 歴史的分野
1 取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨に基づいて、各時代の特色や時代の転換に関係する基礎的・基本的な歴史に関わる事象を重点的に取り上げている。日本の歴史の大きな流れを的確に押さえられるように、学習材を厳選されている。 ・日本の伝統と文化の特色を広い視野に立って考え、平和の実現に対しての理解を深めることができる内容が豊富に取り入れられている。 ・人権尊重や男女共同参画などの人権についての歴史に関わる事象や資料が豊富に取り上げられている。また、防災・資源・環境・生命尊重などに関わる先人の動きを積極的に取り上げている。
2 内容の選択及び扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・文化史は、原則3・4ページ構成にして、代表的な事例を豊富に取り上げている。琉球やアイヌの文化に関する取り扱いも充実している。 ・将来のグローバル化や国際社会を踏まえて、日本の歴史と世界の歴史の記述が良い。 ・部落差別や、女性・アイヌ・在日外国人などの人権に関する内容は、歴史的な経緯と現在の取り組みを丹念に記述されている。
3 内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> ・各時代の導入の年表、脚注の連携コーナーが設けられており、小学校での学習や、他分野と関連付けて学べるようになっている。 ・「深めよう」「アクティビティ」「資料活用」など、随所に問いや活動を設けるコーナーがあり、生徒が主体的に学べるための教材やツールが豊富である。 ・巻末の歴史学習の基礎資料と索引が設けられ、主体的な学習を支える資料が充実している。 ・単元末の学習の整理と活用では、学習の振り返りがしっかりできる工夫がされている。
4 内容の構成及び配列	<ul style="list-style-type: none"> ・各時代の学習では、学習の目当てが明らかにされており、学習の見通しが立てられる。 ・各章に設置されたチャレンジ歴史で、歴史について自分で考え、対話ができる学習活動が取り入れられている。 ・全体を6編構成として、学習内容の焦点化を図っている。
5 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や生徒の思考の流れに沿った構成がなされている。 ・資料活用や歴史+α、デジタルマークで学習を深めることができる
6 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・本文は平易な文章で、具体的に記述されている。 ・人名や地名にはふりがながある。 ・重要語句は太字にし、すべてふりがなを付してある。 ・図版に番号が付してあり、本文と関連付けて読めるようになっている。

7 その他	
総合的な評価	<p>「取り扱い内容」「内容の選択」をはじめ、「内容の構成」などで生徒が興味関心を持ち、主体的・対話的に学習できるよう工夫された内容であるか、見開き2ページによって1時間の構成となっているか、1時間単位の「めあて」と「ふりかえり」が設定されているか、文章の分量や読みやすさ(表現)などの配慮がなされているか、などを中心に考え評価した。その結果、各ページに年表が記されており、どの時代の出来事であるかを一目で確認できるような工夫が見られる。また、学習内容については、この教科書の部落問題や人権問題に対する記述に関しては他社と比べると充実した内容であり、生徒に対しても分かりやすく説明されている。そして、地域性にもあった教科書であると考えられる。従ってこの教科書においても、【特に適している】と判断した。</p>

令和3年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	社会 歴史
発行者名(番号)・教科書名	育鵬社(227) 最新 新しい日本の歴史
1 取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示された内容をもとに構成している。 ・琉球・沖縄・アイヌの文化と歴史、交易等に着目し、日本の歴史を正しく理解できるように配慮されている。 ・身近な地域の歴史に関して、伝統や文化の特色を身近に理解できる学習構成になっており、郷土の歴史に愛情を深めることができるようになっている。
2 内容の選択及び扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・各章および書き単元の導入には問題提起となる発問等をおき、生徒が興味・関心を高めながら課題に取り組んだり、学習を進めたりできるように配慮されている。 ・各章の初めには、親しみやすいイラストで描かれた「歴史絵巻」があり、各時代の歴史の大きな流れや特色をとらえられるようになっている。
3 内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に沿って、生徒が無理なく、興味をもって学習できる内容になっている。 ・「歴史ビュー」「人物クローズアップ」「歴史ズームイン」などが設けられ、多面的・多角的な視点から、より広くより深く学ぶことができるようになっている。
4 内容の構成及び配列	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として、1単元見開き2ページ構成とし、授業を進めやすくしている。 ・生徒の発達段階、年間配当時数等に配慮し、公民的分野の学習、道徳教育との関連等が図られている。
5 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・教材配列は、「つかむ・調べる・まとめる」といった問題解決学習ができ、歴史的事象を多面的・多角的に考察できる。また、主体的・対話的で深い学びができるようになっている。
6 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターが登場し、生徒たちが親しみやすく、主体的に学習できるようになっている。 ・読みやすい大きさの文字、教育外漢字や固有名詞のふりがな等、生徒にとってわかりやすい。難解な歴史的用語等には、ふりがなが振られている。地理的な概念を含む単元では、適宜地図も配置されている。 ・ユニバーサルデザインが使われているわけではない。
7 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・人物クローズアップは男性しか取り上げていない。なでしこ日本史で女性を取り上げているが、『大和なでしこ』の意味合いから、女性の地位を男性と平等に扱っていない状況が伺える。 ・ポツダム宣言発表直後、日本がどのように宣言を扱ったか記述されていない。 ・歴史ズームイン(p.282)では天皇について記述があるが、国民統合の象徴としての役割を調べようという発問にそった内容ではない(天皇の国事行為について記述されているわけではない)。

総合的な評価	「取り扱い内容」「内容の選択」をはじめ、「内容の構成」などで生徒が興味関心を持ち、主体的・対話的に学習できるよう工夫された内容であるか、見開き2ページによって1時間の構成となっているか、1時間単位の「めあて」と「ふりかえり」が設定されているか、文章の分量や読みやすさ(表現)などの配慮がなされているか、などを中心に考え評価した。その結果、一方的な見方や考え方に捉えられがちな資料提供があり、平等性にやや欠ける部分が見受けられた。また、学習内容も曖昧な点もある事から、最も適しているとされる他社の教科書と比べると、【適しているとは言い難い】と判断した。
--------	---